

### 特別寄稿

#### 新田開発の初期の姿

美しい用水の会代表 佐藤敬臣

11月11日、18日の2回、並木公民館歴史講座として「砂川用水の歴史と現状」と題し、江戸期国分寺市域の新田開発初期の状況と社会基盤として国分寺市域の砂川用水（旧・野中新田分水）の現状を紹介する機会をいただきました。「徳川8代将軍吉宗は幕府財政逼迫を打開するため、農民の年貢を25%引きあげ、年貢確保のために新田開発を町民に奨励したのです。特に、武蔵野台地の新田開発を重要視し、様々な農民救済策を実施し東京ドーム約100個分を国分寺市域農民に貸与したのです。しかし、開発すべき土地は、その半分ほどが原野に近いもので、穀物などの生産に適する土地は極めて少なく、荒れ果てていた原野を農耕地として改良する苦労は大変であったと思います。現に2割ほどの離農者が出たようです。砂川用水はそのような農業生活に欠くことのできない生活用水を提供できる社会基盤の一つでした。その大切さを理解いただくため、嘗ては五日市街道の南北を流れ、

今は南側だけ流れる砂川用水の現状、農民の心を支えた神社仏閣、墓所、水車などの遺構を見学しました。特に妙法寺内の川崎・伊奈両代官への謝恩塔は、両代官が難渋している農民の視点で様々な救済策を実施したことへの深い感謝の象徴です。裏を返せば当初の幕府目標近くまで収穫できたという、農民の安堵を感じさせるものでした。また、水車が必要との願書が出された1800年代始め年末は、収穫が安定してきたことの表れではないでしょうか。新田開発の奨励が発せられて、80年近く経ち、ようやく農民生活は安定したのでしょうか？このような流れでお話し、30名の受講者皆さまにご静聴いただいた、講座でした。



水車の写真は戦後



砂川用水見学

### <令和5年>12月行事予定

- 4日(月) 防災推進の街づくり仲間の会  
井戸端会議  
9:30 室内プール前井戸
- 9日(土) ふるさとをつくる会合同幹部会議  
14:00~恋ヶ窪公民館
- 10日(日) アウトドアチャレンジ  
国立オリンピック青少年  
総合センター 10:00 集合
- 13日(水) 森の自然塾運営会議  
9:30 恋ヶ窪公民館
- 16日(土) 日吉町町内会定例会  
13:30 日吉町フードセンター
- 17日(日) 森の自然塾  
9:20 エックス山中央集合
- 17日(日) 環境ひろば  
テーマ：環境基本計画について  
10:00 国分寺市役所
- 24日(日) 防災推進の街づくり仲間の会  
14:00 恋ヶ窪公民館
- 25日(月) 会報配布準備(含む印刷)  
13:30 恋ヶ窪公民館
- 25日(月) 多摩に歩く会会議(会報配布準備終了後 14:15 恋ヶ窪公民館)



ドリームキャッチャー



ひっつき虫で大漁だ!

#### 《11月森の自然塾》 森のドリームキャッチャー・ひっつき虫で大漁だ!

NEAL インストラクター 長谷慎太郎 田中由美子

11月の自然塾は、自然物を使って制作するプログラムを2つ行いました。「ドリームキャッチャー」は、ネイティブアメリカン(先住民族)に伝わる、子供の安眠を守るお守りです。ネイティブアメリカンの「自然は子孫から借り物なので、そのままの形で返せるように心配りをして生活を営む」思想を紹介しました。ドリームキャッチャーは、植物の蔓で作ったリースに毛糸を網状に張り、ビーズや羽で飾りつけます。悪夢は網に引っかかり、良い夢だけが飾りにつけた鳥の羽の先から降りてくると言われています。各自が好きな色の羽とビーズを使って工夫したので、カラフルな作品が沢山出来ました。「ひっつきむしで大漁だ! 魚釣り」は、ひっつきむし(オナモミ)の解説とルーペによる観察をして、植物の種子の散布の1つ「動物への付着散布」を学びました。エックス山で集めた木の葉に絵を描き魚にして、ひっつきむし(オナモミ)を釣り針にした釣竿を作り、時間を計って何匹釣れるか、釣り大会を行いました。川に見立てた廊下での魚釣りは、うまく引っ掛けられたり、落としてしまったりで、みんな夢中になって大いに盛り上がりました。



11月なのに異例の暑さの一日。八王子一帯は江戸中期から絹織物業が盛んで、幕末の横浜開港で鑓水の生糸商人が行き交った峠道は往年を偲んで「絹の道」と名付けられた。賑わったのはわずか二十数年間だけ、今はかつての姿が幻であったように、道沿いにわずかな栄華の跡がみられる。バス停近く長い階段を上りふつと振り返ると八王子市街が一望、疲れが吹っ飛ぶような爽快感を味わう。石碑がある大塚山公園の頂上には廃墟といった雰囲気道の了堂跡、ここからの約1kmが歴史の道百選にも選ばれた絹の道。往来はほとんどなく、未舗装のただらとした下り坂を木漏れ日を楽しみながら石塔群のある三叉路まで。生糸商で富豪になった鑓水商人の屋敷跡の「絹の道史料館」で一息、立入禁止の茅葺民家（都指定有形民俗文化財）の小泉家屋敷の傍を通過する。小山内裏公園は多摩丘陵の雑木林で覆われ、多様な動植物が生息する公園。園内の4サンクチュアリは動植物の保護のため立入禁止、それを囲む遊歩道が整備され、第二次世界大戦の末期に戦車の性能テスト用として作られた尾根緑道(戦車道路)は快適な散歩道。東展望広場からは大山や蛭ヶ岳の丹沢山塊が遠望される。



小山内裏公園

御岳溪谷 紅葉散策

都市緑化を考える会 三田晴美



「都市緑化を考える会」はコロナ感染拡大により暫く活動を休止していましたが、秋から活動を再開する事に致しました。11月3日「御岳溪谷紅葉散策」は軍畑駅から御岳駅まで溪谷沿いを歩くコースです。軍畑の地名の謂れを説明し、鎧塚の見学からスタートしました。途中、寒山寺の他に北原白秋の歌碑・朝倉文夫の「青年の碑」・「お山の杉の子」の歌碑を見学し、文化人ゆかりの地でもある御岳溪谷を楽しみました。紅葉は少し早いかと心配しましたが、赤や黄色に色付いたケヤキが見事でした。また緑から赤に変化したイロハモミジの紅葉の美しさも楽しみました。ホトトギスの紫色、カラスウリのオレンジ色もかわいらしく彩りを添えてくれました。少人数の散策でしたが、楽しい会話をしながら溪谷の爽やかな景色を堪能しました。



御岳溪谷



晩秋の新宿・落合を楽しく歩きました

ふるさとの自然と歴史を訪ねる会 二瓶文博

今回はいつもと少し趣を変えて、多くの文化人が住んだ新宿・落合にある記念館と緑豊かな小路や公園をめぐる歩きました。まずは、中村彝(つね)、続いて佐伯祐三のアトリエ記念館を訪れました。お二人とも素晴らしい才能を発揮しながら、結核で夭折された画家です。最後に、林芙美子記念館に行きました。林芙美子が戦中の厳しい条件のなか自ら細部におたって様々な工夫を凝らし設計した自宅や庭園が保存、公開されており、詳しく見ることができました。また、事前をお願いしていたボランティアガイドの方に詳しく説明してもらいました。見学の終わりに皆さんに感想をお聞きしたところ、一様に「来てよかった」「このようなものがあるのは知らなかった」「日本人の洋画家についてあまり知らなかったので、勉強になった」「林芙美子について詳しくは知らなかったので、また来てゆっくりと見たい」などの声をいただきました。私は、今回の試みを受け止めてくださった参加者の皆さんに感謝し、色々な好奇心をもって、今後も「訪ねる会」を続けて行きたいと思いました。

林芙美子記念館



環境保全に配慮し、人に、社会に、地球に優しい製品及びサービスを提供します

**リオン株式会社**  
https://www.rion.co.jp/

エックスやま  
本社はX山に位置します  
自然環境保護に賛同  
賛助会員 TEL 042-321-5441  
国分寺市日吉町4丁目13番2  
**中央システム技研(株)**  
代表取締役 川野 誠  
(長野県下伊那郡出身)

私たちは木を森を自然を大切にしています。  
Environment Conscious  
R&D for the Future

企業紹介はこちら  
(株)日立製作所  
中央研究所 →



**HITACHI**  
Inspire the Next

ホームページ  
NPO 法人国分寺市に  
ふるさとをつくる会  
QRコード

